

## 製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社  
住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F

電話番号 03-5566-8705 FAX 番号 03-5566-8682

作成 1998年 1月14日

改訂 2008年 11月 6日

整理番号 : 425.7

製品名	V-CAP/RC	
物質の特定	単一製品・混合物の区別 : 混合物	
化学名	ビニルカピロラクタム	ε-カプロラクタム
含有量	98%以上	2%以下
化学式	C <sub>8</sub> H <sub>13</sub> NO	C <sub>6</sub> H <sub>11</sub> NO
官報公示整理番号 : 化審法・安衛法 :	(5)-6239	(5)-1097
CAS No. :	2235-00-9	105-60-2
国連分類及び国連番号 :	非該当	
PRTR法 :	該当(ε-カプロラクタム含有)	
安衛法通知対象物質 :	該当(ε-カプロラクタム含有)	

危険有害性の分類 分類の名称 : 分類基準に該当しない

危険性 : 可燃性の結晶

有害性 :

環境影響 :

## 応急措置

眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当を受ける。

皮膚に触れた場合 : 多量の水及び石鹼で洗い流す。

吸入した場合 : 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にして速やかに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませた後、指を喉に差し込んで吐かせ、直ちに医師の手当を受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

## 火災時の措置

消火方法 :

(1) 一般火災と同様の消火方法をとる。

燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素、シアン化水素等が発生する恐れがあるので注意を要する。

- (2) 消火作業は風上から行い、消火を行う人は防火服及び呼吸保護具を着用する。

消火剤 : 噴霧水、泡（耐アルコール）、粉末、二酸化炭素

---

漏出時の措置

- (1) できるかぎり拭き取り、回収する。  
(2) 下水等に入り込まないように注意する。

---

取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : (1) できるだけ粉塵の吸入を防ぎ、必要に応じ適切な保護具を着用する。  
(2) 粉塵の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つように努める。  
(3) 取扱場所では火気、火花、アークを発する物又は高温点火源を使用しない。  
(4) 粉塵の発生する取扱場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は静電気対策を講じる。  
(5) 酸化剤及び酸との接触をさける。
- 保管 : (1) 貯蔵場所では常に整理整頓及び清掃に努め、みだりに不必要な可燃物を放置しないこと。  
(2) 貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。  
(3) 収納した容器を貯蔵するときは地震等で容器が容易に転落、転倒し又は他の落下物により損傷を受けないようにする。

---

暴露防止措置

管理濃度 : なし

許容濃度 : 日本産業衛生学会勧告値 (1997年版)

時間荷重平均 : 未設定

ACGIH(96-97)勧告値

時間加重平均(TWA) : VCL 未設定

カブ・ロラクタム 1 mg/m<sup>3</sup>(Dust)

5 ppm 23 mg/m<sup>3</sup>(Vapor)

設備対策 : 粉塵や蒸気の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける。

保護具 : 保護マスク、送気マスク、保護眼鏡、保護手袋

その他の衛生上の予防措置

- (1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。  
(2) 健康診断を定期的の実施する。  
(3) 安全衛生教育を実施する。

---

物理／化学的性質

外観 : 淡黄色結晶  
比重 : 1.01 (40 °C)  
沸点 : 115-116 °C (10 mmHg)  
融点 : 34.0 °C (常圧)  
蒸気圧 : < 0.013 kPa (20 °C) (< 0.1 mmHg(20 °C))  
蒸気比重 : (空気 = 1)

溶解度 : 水への溶解量 8.5 % ( 50 °C )  
 その他 : pH 8.0~10(50 g/l)

## 危険性情報 (安定性、反応性)

引火点 : 114 °C  
 発火点 : 220 °C  
 爆発範囲 : 上限 下限  
 反応性 : 一般的取扱い、貯蔵の条件では安定。  
 酸化剤、酸との接触を避ける。  
 自己反応性 : 重合物を形成する。

可燃性の結晶であるが、温度の高い場合は、可燃性の液体であり、蒸気は空気よりも重く、蒸発したガスが低所に滞留して爆発性混合ガスを作る可能性がある。

## 有害性情報 (1)

刺激性 : 皮膚 ウサギ 微かな刺激性(ヒ<sup>+</sup>ニルカフ<sup>+</sup>ロラクタム)  
 ウサギ 弱い刺激性(500 mg/24 hr)(カフ<sup>+</sup>ロラクタム)  
 眼 ウサギ 中程度の刺激性(ヒ<sup>+</sup>ニルカフ<sup>+</sup>ロラクタム)  
 ウサギ 激しい刺激性(20 mg/24 hr)(カフ<sup>+</sup>ロラクタム)  
 急性毒性 : 経口 ラット LD<sub>50</sub> 1,114 mg/kg(ヒ<sup>+</sup>ニルカフ<sup>+</sup>ロラクタム)  
 LD<sub>50</sub> 2,140 mg/kg(カフ<sup>+</sup>ロラクタム)  
 吸入 ラット 死亡例無し(8時間暴露 Enriched atmosphere  
 20 °C) (ヒ<sup>+</sup>ニルカフ<sup>+</sup>ロラクタム)  
 経皮 ウサギ LD<sub>50</sub> 1,700 mg/kg(ヒ<sup>+</sup>ニルカフ<sup>+</sup>ロラクタム)

## 亜急性及び慢性毒性 :

吸入 ラット 90 日間 暴露  
 結果 : 無悪影響量は 10 ppm(20 °C) (ヒ<sup>+</sup>ニルカフ<sup>+</sup>ロラクタム)

変異原性 : データなし  
 発がん性 : データなし  
 催奇形性 : データなし  
 代謝・排泄 : データなし

## 環境影響情報

生分解性 : データなし  
 生態影響 : データなし

## 廃棄上の注意

- (1) 廃棄は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
- (2) 焼却処理を行う場合は、有害排ガスが発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を行う。

## 輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付することが望ましい。
- (2) 梱包が破れないように水濡れや乱暴な取扱いは避ける。

- (3) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかりと固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めていく。

---

主な適用法規

消防法

法別表 : 指定可燃物 可燃性固体類(指定数量 3,000 kg)

---

その他

---

参考文献

- 1) ISP TECHNOLOGIES INC. MATERIAL SAFETY DATA SHEET